

野田くん 今まで
おっかれさまでした
天国でも 元気で
すごして下さいね
空からいつも見て下さい

サヨナラ

マリアオキ

ゆめとん

おめでとう



渡辺 雅雄

ゆめとん、じいじのこと、
おもしろい集会に見て
ほくそに入りました。
ほいになりました。
本当カッコイゆめとん
でした。

伊田 裕海



関 翔平



ゆめとん 五十年経たず

野田愛友様
ありがとう
大倉みず子様



たのしかった
ゆめとん

阿部美幸

ゆめとん

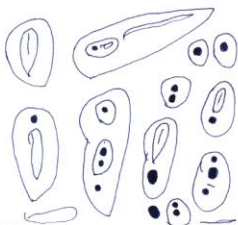
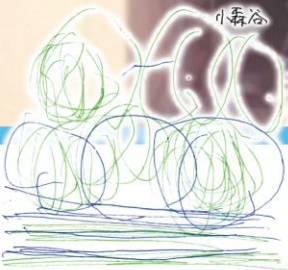
田中 ありか



ゆめとん
みんなできれいにして
さんぽして、おめでとう
かいたさんあって、なか
さびしいです。
いっしょとたのしかったこと
よから、おめでとう
糸内 田裕加



足立あ



柴田 鏡一



斎藤 雅一



夢友くん 12年間ありがとう
夢友くんの笑顔が大好きでした。
天国から、いつも、集のみんな
見てね。私も、空、いつも見てね。
バックリもがんばってるよ。
渡邊 あや

イラスト めーべ班

川口太陽の家

〒333-0831 川口市木曾呂1374
kawaguchitaiyonoie@marble.ocn.ne.jp

TEL 048-294-0955 FAX 048-294-4458

アトリエ輪

〒333-0831 川口市木曾呂89-4

TEL 048-299-9156 FAX 048-299-9157

川口太陽の家・工房「集」

〒333-0831 川口市木曾呂1445
kobo-syu@marble.ocn.ne.jp

TEL 048-290-7355 FAX 048-290-7356

オレンジホーム

〒333-0831 川口市木曾呂249-1

TEL 048-298-1796 FAX 048-298-1796

ありがとう、夢友君



夢友さんと出会ったのは5年前、その頃は調子を崩していて、話しかけても返ってこなかったり突然走り出したり、どんな人なのかわかりづらい印象がありました。どうしたら理解できるのか職員で何度も話し合い、言葉でうまく伝えられない彼の思いを小さな行動のひとつひとつから拾いあげ、関わり方を一から見直しました。当時担当だった中村さんが柱になり、偶然でも職員が嬉しく感じたことはみんなで共有して評価を積み重ねていくこと、集での夢友さんの居場所をしつかりと保障することを大切にしながら関わっていきました。自分の意に反することは「いやだー！」と主張できる頑固な夢友くん。泣いている仲間がいるとそつと頭を撫でてくれる優しい夢友くん。他の仲間の椅子に座って周りからツッコまれると「ニヤリ」と笑うおどけた夢友くん。関わりを見直してから少しずつ色々な顔が見えてきて、夢友くんとやりとりがいつの間にか自分の毎日の楽しみになっていました。

集に見学者が来ると、必ず夢友くんのことを話します。ずっと席に座って絵を描いているわけではない、少し描いては集の中を歩き回ったり食堂でくつろいだり、しばらくすると「そろそろやるか」というようにまた絵に向かったり…その繰り返しによって塗り重ねられたクレヨンの深みに皆さん驚かれ、「とてもあったかい雰囲気のところですね」と言ってくれました。仕事に向かっている以外の時間も受け入れられている空気感があるからこそ彼の作品は生まれ、「ひとりひとりを大切にする」とはどういうことなのかを夢友くんが教えてくれました。担当になって2年目、これから先もつと一緒にやりたいことがたくさんあったのに突然のお別れになってしまったことは本当に悔しいです。夢友くんにとっての幸せはみぬまの仲間みんなにとつての幸せにつながるのだということを忘れずに、彼に教えてもらったことを大切にしていきたいのが私たちの役割だと思います。みんながしっかりやれているか、これからも見守っていて下さいね！（矢野）



ギャラリーリーナユタ



4 / 28 ~ 5 / 14まで、銀座一丁目にあるギャラリーリーナユタにて、「それぞれの“いきる”」と題された作品展が行われました。今回出展されたのは、きらっと班の大串さん、箭内さん、白田さん、じゅうに班の金子さんです。ギャラリーナユタは築80年のビルの中にあり、真っ白い壁に、優しくそして力強さも感じる大串さんの作品、箭内さんのダイナミックな絵画、白田さんの繊細で迫力のある花の絵、そしてたくさん数の金子さんのニギリ。4人の作品がコラボレーションし、それぞれが全く違う作品であるのに空間全体が作品のようになり、展示が終わった際、ギャラリーの佐藤さんは「まるでバンドのようですね。」と言う言葉をいただきました。

金子さんは、ニギリ作家としては個人での出展は初めてとなりました。展示を見に行った際は、色々なことを思い出しているように、真剣でキリッとした表情で自分の作品を眺めていたのが印象的です。開催期間がゴールデンウィーク中だったこともあり、沢山の方が来場して下さったようで、嬉しく思います。(関)



陽だまりの中より・・・

～今月の各班の想い～

じゅうに

ゴールデンウィークの真ただ中の5月1日。じゅうに班職員の栗田さんがなにやら大きな荷物を背負って川口にやってきました。荷物の中身は大きな楽器類。アイリッシュハープやチェロなど、目にする事はあっても、普段はなかなか手に触れることの出来ない珍しい楽器の数々です。じゅうに班だけの活動とするのはもったいないと、他班の皆さんにもお声をかけて、ささやかな音楽会を執り行いました。初めて触る楽器の重厚感と生の音に仲間たちは大盛り上がり。「これ絶対俺ハマるよ！」と興奮気味につぶやく方や、ちょうど5月が誕生月で、皆で即興の歌でお祝いをして貰い、嬉しそうな表情を見せる方など反応は様々でした。今後も何かしらの形でこのような活動を続けていけそうだと手ごたえを感じた、そんな五月晴れの日でした。(仙田)



サンだいち

5月に入ってゴールデンウィークの連休がありました。連休はみんなそれぞれに過ごしていた様子でした。長い休み明けは少しみんなぼんやりしている様子もありましたが、毎日のウエス仕事や表現活動をしっかり頑張っている様子がありました。ウエスはなんと新規からの注文が入り、先月のタオルに続き今月はみんなで頑張って古着を切ってメンクロを100kg作りました！！仕事熱心なみんなにいつも感心しています。(宮本由)



めーべ

パック回収の帰り道、風にゆられるこいのぼりを眺めながら仲間が一言、「うちでもこいのぼり飾りたいね～」。

さっそく集に戻って作ってみたら、カラフルで素敵なこいのぼりが完成！

紙で作ったこいのぼり、ゴールデンウィークが終わったら風に吹かれてどこかに飛んでいってしまいました。残念ですが、きっと自由にどこかを泳いでいったのでしょう。来年は、もっと大きなこいのぼりを作りましょ～。(小嶋)



あおぞら

昼休みは何人かの仲間がオセロをして和気あいあいと過ごします。しかし、その時間もなかなかうまく行かない時があります。ある日の午後、あおぞらでオセロをする人たち（じゅうにの仲間も入って）と職員で話し合いをしました。どうして楽しいゲームの時間にもめ事が起こってしまうのか、もう一度考えてみていくつかルールを確認しました。その他、オセロがしやすくなるためにじゅうにの仲間からは、奥の席でやらずに手前の席でやってほしい等の意見が出て、良い話し合いをする事ができました。

翌日から、その事をみんながしっかり頭の隅に置き、今のところは平和で和やかな昼休みになりました。今のところは（笑）。（小川）



きらっと

毎日毎日、1日中表現活動に取り組んでいる仲間達。朝、直接アトリエに出勤している仲間たちは、9時45分位から仕事をしようとするので「こんな早くから？」と驚いてしまいます。でも、UNOをやっている仲間もいて、楽しそうな声を聞くと「そうだ、UNOやろう！」と言うかのように1度画材をしまつて慌てて加わります。

昼休みもそこそこに、画材を出して描き始める姿に「本当に自分の仕事が好きなんだな」「誇りに思っただけで熱中出来ているんだな」と感じます。銀座にある『ギャラリーナユタ』において、きらっとから白田さん、大串さん、箭内さんの3人の作品が展示されました。観に行ったらとき毎日の仲間達の表情や仕事に向き合う姿勢から生まれた作品なだけあって圧巻、圧倒、感動しました。仲間って本当にすごいと改めて脱帽です・・・（山内）



青年隊

まず思う事は、青年隊をやっている自分の意見を考えて、自分の意見を言って、自分は今後も青年隊をやりたいという事です。仕事もいろいろ楽しいし、横山君や大串君や金子君や緑川君がきらっとから青年隊と一緒に頑張っています。本当に青年隊をやっている楽しいです。

きらっと 白田 直紀

オレンジホーム

暖かくなってきた今日この頃、ホームでも外出する機会が増えてきました。GW中の5/3にはみんなでカラオケに、また、5/14のふれあいのもり祭りにもホームの仲間達と参加して来ました。「アイス食べる」「お昼は～?」「コ～ラ～」などなど、みんな外出を様々な形で楽しんでしました。

最近、オレンジで仲間達からあがってくる話題は旅行が増えてきました。みんな楽しみにしていて、太陽から戻ってもこうやって色々悩みながらも考えているんだなと実感する場面です。

異動してきて早2ヶ月、川口太陽では見られなかった様子も含め、オレンジホームでは初めての発見も一杯です。これからも宜しくお願いします、みなさん。

（小野田）

授産報告（5月）

<収入>

種目	金額	摘要
ウエス	23,600	
織り	24,125	
絵画	464,215	
詩	0	
古本・古着	0	
粘土製品	0	
ステンドグラス	21,740	
ダンボール作品	0	
和紙・木工	960	
牛乳パック	43,200	
その他	0	
給与の為、通帳からの繰入	0	
前月からの繰入	0	
合計	577,840	

<支出>

項目	金額	摘要
賃金	315,562	
賞与	0	
材料費	11,682	
経費	30,000	
その他	0	
通帳への繰入	220,596	
作品展準備金	0	
合計	577,840	

～今月の新作～



UUホルダー

三羽勇二（あおぞら）

6月 予定表

		施設	法人・後援会			施設	法人・後援会
1	木	家族会役員会		16	金	一泊旅行（東京）	
2	金		駅頭募金 東浦和駅	17	土	休み	
3	土	半日		18	日		
4	日			19	月		
5	月		常任理事会	20	火		
6	火		後援会三役会	21	水		
7	水		後援会総会	22	木		後援会役員会
8	木		暮らしの場・中身作り部会	23	金	半日、PM：職員会議	新人職員研修
9	金	半日、PM：職員会議		24	土	半日	↓
10	土	半日	理事会	25	日		理事会・評議員会
11	日			26	月	工房集運営会議	
12	月			27	火	家族会	
13	火		暮らしの場・広報部会	28	水		駅頭募金 東浦和駅
14	水		コンサート実行委員会	29	木		みぬま福祉講座
15	木	一泊旅行（東京）		30	金	給料支給	

所長より

4月、今村前復興大臣の失言が話題になっていた。「福島の自主避難者が帰れないのは自己責任だ。裁判でもやればいい」と言ったり、記者の質問に対して、口論となって苛立ちを隠せずにキレて退出したかと思えば、挙句の果てにはパーティーの会場で東日本大震災の被害について、「まだ東北で、あっちの方だったから良かった…」などと発言して、結局大臣を辞任した。東北出身の自分にとっては、腹立たしさを感じるとともに言葉の持つ影響力の大きさを感じた話題であった。

現代は、言葉や文章だけでなく、ブログやツイッターなどネットニュースではその人の発言したインパクトのある言葉を切り取

って発信される世の中である。そういう意味で言ったんじゃないのに…と言葉足らずで本人にとっての真意とは違った形で受け取られることも多々あるのではないかな。もちろん政治家達の失言(暴言)は許されるものではないが、簡単に辞任さえすれば新しい話題がすぐに上書きされて、その事実はあるという間に過去のものになってしまう。

施設長になって2か月…立場が変われば、これまでと同じ発言をしても受け取る側にとっては受け止め方が違ってくる。ちょっとした冗談がその人を傷つける事もあるかもしれないし、内容を切り取られて伝達されることもあるかもしれない。一施設の責任者として言葉の持つ影響力を感じながら、その人の立場になって丁寧な会話を心掛けていきたい。(黒田)

～後援会からのお知らせ～

6月7日に行われた後援会総会では、約140名以上の参加があり、会場は満席状態、後援会活動報告や永年勤続表彰、暮らしの場準備会の報告も含めて、中身が濃く充実した総会になりました。

コンサート <日程> 2018年1月20日(土)
<場所> 大宮ソニックシティ

【日程】

- | | | | |
|--------|------|--------|--------|
| ・三役会 | 6/6 | 川口太陽の家 | 10:30～ |
| ・役員会 | 6/22 | 交流センター | 10:30～ |
| ・広報部 | 5/31 | 川口太陽の家 | 10:30～ |
| ・事業部 | 6/6 | 川口太陽の家 | 10:30～ |
| ・コンサート | 6/14 | 川口太陽の家 | 10:30～ |
| ・学習運動 | 6/21 | 交流センター | 10:30～ |

インフォメーション

<野田夢友個展>

野田さんは重度の仲間の表現活動の先駆者でもあり、工房集が大切にしている「誰にでも表現の可能性がある、重度の仲間の表現の可能性を追求している」ことを具現化してくれた貢献者です。野田さんの残した作品の数々を展示することで、私たちに教えてくれたこと、工房集が大切にしている表現活動の意味合いを実感したいと思います。

会期:7/10(月)～7/22(土) 10:00～17:00 定休日:
7/15(土)・16(日)・17(祝)
偲ぶ会:7/22(土)

色鉛筆(^・^)

ここ数年、孫と一緒にディズニーへ出掛ける様になりました。まだ身長が足りなかったり恐かったり、乗れる物に限りがあります。そこで一日中遊べない事に若干のストレスを感じていた昔のママ友と、大人ディズニーへ行く事になりました。当日は空いていた事もあり半分以上ファストパスで十数か所のアトラクションを堪能し、気がつけば26000歩!ちょっと気がひけ、お土産を抱えて帰路に着きました。(じゅうに:小平)

この春から片道約90分のドライブが私の日課となりました。ある意味で小旅行です。その様子はモラージュ菖蒲をスタート。国道122号線をひたすら南下。平林寺、加倉の渋滞に苛立ちながらもそこを抜けた途端に一瞬で公道レース。我先に浦和料金所の合流に滑り込む各車両たち。そしてまた渋滞。職場に着く頃には一仕事を終えた安堵感と疲労感で(*´ω`)まったりと……。この毎日に私にも5月病がやってきそうな気配でした。どう乗り越えたのか、それは……。通るコースをその都度変えながら、新しい道やお店を発見。そして頭の中の地図がどんどん大きく、そして道が繋がっていく。以前、みぬまに入職したころの里の送迎業務。見知らぬ街を走りながら頭の中の地図が大きくなっていった様子に似ています。なんだか懐かしい感じが通勤を楽しく思えるようになってきました。季節は変わり桜から新緑、そして初夏へ、梅雨の時期はとかくうとうしいものですが、なぜか気持ちはウキウキの毎日です。毎日が旅行気分って、結構楽しいですよ。(総務:篠崎)

厨房の加藤です。太陽の家と工房集の厨房業務に携わって3月で1年を迎えることが出来ました。振り返ってみれば、あっという間と言うかもう一年たったんだなあと思う思いでした。最初の頃は厨房業務が未経験だったこと、お料理もあまり得意ではない為、戸惑うことばかりでした。それに厨房の仕事は力仕事であり時間との勝負の仕事でした。元々のんびりしている私にはこのスピードについていけるのかとても不安でした。そんな私に土山さんをはじめ、伊藤さん、沼さん、中村さんが地道に優しく、時に厳しくたくさんのお話を教えてくれそして支えていただきました。厨房の仕事に就いて一年、おかげ様でお料理のレパートリーもだいぶ増えました。集の職員の方々や仲間みなさんからも、時間に間に合わないことがあると手伝ってもらったり、毎日お茶をいれてもらったりと優しくしていただき、感謝しています。集の厨房はひとりで何もかもやらなければならぬので大変ですが、とてもやりがいがあります。至らない点も多々あるかと思いますが、みなさんこれからもよろしくお願ひします。(厨房:加藤)